



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月9日

上場会社名 能美防災株式会社

上場取引所 東

コード番号 6744 URL <https://www.nohmi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村 武士

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部担当 (氏名) 小野 泰弘

TEL 03-3265-0214

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	43,918	12.2	490	89.4	684	86.0	406	88.0
2022年3月期第2四半期	49,999	9.3	4,639	46.0	4,898	44.9	3,373	56.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 867百万円 (76.9%) 2022年3月期第2四半期 3,757百万円 (59.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	6.74	
2022年3月期第2四半期	55.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	141,080	111,672	77.9
2022年3月期	148,599	111,891	74.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 109,932百万円 2022年3月期 110,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		18.00		18.00	36.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	1.7	10,100	20.1	10,400	20.9	7,150	23.5	118.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	60,832,771 株	2022年3月期	60,832,771 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	511,054 株	2022年3月期	517,921 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	60,317,797 株	2022年3月期2Q	60,299,709 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかで経済社会活動の正常化に向けた動きがみられたものの、ウクライナ情勢の長期化や急速な円安進行の影響などにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当防災業界におきましても、民間設備投資は回復傾向にあるものの、部品の供給制約や原材料価格の上昇の影響などに注視が必要な状況が続いております。

このような状況にありますが、当社グループは2028年度のありたい姿と、その実現に向けた施策を「中長期ビジョン2028～期待の先をカタチに～」として策定しており、各種の取り組みを2022年度から始め、より高い付加価値を創造できる企業への変革に挑戦しております。

この中長期ビジョンのもと、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら事業活動を展開してきた結果、当第2四半期連結累計期間における受注高は65,103百万円（前年同四半期比2.2%増）、売上高は43,918百万円（前年同四半期比12.2%減）となりました。

利益につきましては、一部の物件で進捗の遅れがみられたことに加え、比較的採算性の高い案件が前連結会計年度に集中していたことなどから、営業利益は490百万円（前年同四半期比89.4%減）、経常利益は684百万円（前年同四半期比86.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は406百万円（前年同四半期比88.0%減）となりました。

業績の内訳をセグメント別にみますと、火災報知設備につきましては、売上高は15,886百万円（前年同四半期比16.3%減）、営業利益は1,130百万円（前年同四半期比72.3%減）、消火設備につきましては、売上高は14,253百万円（前年同四半期比16.8%減）、営業利益は1,365百万円（前年同四半期比40.1%減）、保守点検等につきましては、売上高は11,509百万円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益は1,635百万円（前年同四半期比10.9%減）、その他につきましては、売上高は2,269百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は105百万円（前年同四半期は営業損失36百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、現金及び預金3,080百万円の増加、商品及び製品1,410百万円の増加等があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産15,925百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ7,519百万円減少し、141,080百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等2,028百万円の減少、賞与引当金2,020百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ7,300百万円減少し、29,408百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払い等により、前連結会計年度末に比べ218百万円減少し、111,672百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、当第2四半期連結会計期間末における受注残高が堅調に積み上がっていることなどから、2022年5月11日に公表した予想数値に現時点での変更はありません。

なお、当社グループの売上高は建設業界の影響を受ける部分が多いため、下期、特に第4四半期に集中する傾向があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,663	51,744
受取手形、売掛金及び契約資産	48,991	33,065
商品及び製品	2,943	4,354
仕掛品	1,011	1,425
原材料及び貯蔵品	5,289	6,497
その他	865	1,808
貸倒引当金	△540	△572
流動資産合計	107,225	98,322
固定資産		
有形固定資産	22,900	23,993
無形固定資産	2,996	3,068
投資その他の資産		
投資有価証券	7,314	7,485
その他	8,223	8,279
貸倒引当金	△61	△67
投資その他の資産合計	15,476	15,696
固定資産合計	41,374	42,758
資産合計	148,599	141,080
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,359	3,600
電子記録債務	5,016	4,383
短期借入金	4	0
未払法人税等	2,613	584
賞与引当金	3,610	1,589
製品保証引当金	14	100
完成工事補償引当金	82	79
工事損失引当金	1,286	1,573
資産除去債務	20	20
その他	10,795	8,376
流動負債合計	27,804	20,308
固定負債		
社債	9	2
役員退職慰労引当金	204	145
製品保証引当金	132	131
工事履行保証損失引当金	167	167
退職給付に係る負債	7,431	7,408
資産除去債務	118	117
その他	840	1,126
固定負債合計	8,903	9,099
負債合計	36,708	29,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,302	13,302
資本剰余金	12,920	12,922
利益剰余金	83,094	82,413
自己株式	△272	△268
株主資本合計	109,045	108,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,032	966
為替換算調整勘定	682	1,028
退職給付に係る調整累計額	△509	△433
その他の包括利益累計額合計	1,205	1,562
非支配株主持分	1,640	1,740
純資産合計	111,891	111,672
負債純資産合計	148,599	141,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	49,999	43,918
売上原価	33,654	31,226
売上総利益	16,345	12,691
販売費及び一般管理費	11,706	12,201
営業利益	4,639	490
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	45	52
持分法による投資利益	76	88
補助金収入	48	0
保険返戻金	6	9
その他	142	66
営業外収益合計	327	225
営業外費用		
支払利息	4	3
為替差損	25	2
賃貸費用	12	12
その他	25	13
営業外費用合計	68	30
経常利益	4,898	684
特別利益		
投資有価証券売却益	—	38
固定資産売却益	13	—
特別利益合計	13	38
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	101
固定資産処分損	9	4
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	10	105
税金等調整前四半期純利益	4,900	617
法人税等	1,558	284
四半期純利益	3,342	333
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△31	△73
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,373	406

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,342	333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	△64
為替換算調整勘定	299	523
退職給付に係る調整額	78	76
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
その他の包括利益合計	415	534
四半期包括利益	3,757	867
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,688	763
非支配株主に係る四半期包括利益	68	103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,900	617
減価償却費	1,193	1,313
のれん償却額	5	5
株式報酬費用	2	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25	22
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11	72
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	△59
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,829	△2,031
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△17	84
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	13	△3
受取利息及び受取配当金	△52	△60
保険返戻金	△6	△9
支払利息	4	3
持分法による投資損益(△は益)	△76	△88
固定資産処分損益(△は益)	△3	4
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△38
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	4,389	16,105
棚卸資産の増減額(△は増加)	△767	△2,820
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,020	△2,907
契約負債の増減額(△は減少)	266	938
その他	△1,289	△2,541
小計	3,754	8,612
利息及び配当金の受取額	62	62
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△1,178	△2,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,634	6,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△0	△0
長期性預金の預入による支出	△85	—
長期性預金の払戻による収入	85	—
固定資産の取得による支出	△1,212	△2,201
投資有価証券の取得による支出	△466	△173
投資有価証券の売却による収入	—	39
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△191
貸付金の回収による収入	0	0
保険積立金の解約による収入	24	43
その他	72	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,581	△2,501

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△8	△4
社債の償還による支出	△30	△5
配当金の支払額	△996	△1,087
その他	△71	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,107	△1,177
現金及び現金同等物に係る換算差額	89	162
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	34	3,006
現金及び現金同等物の期首残高	50,959	47,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,994	50,513

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算定方法

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
一時点で移転される 財又はサービス	10,936	1,293	7,281	19,511	986	20,497	—	20,497
一定の期間にわたり 移転される 財又はサービス	8,037	15,829	4,335	28,202	1,299	29,502	—	29,502
顧客との契約から生じ る収益	18,974	17,122	11,616	47,713	2,286	49,999	—	49,999
外部顧客への売上高	18,974	17,122	11,616	47,713	2,286	49,999	—	49,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	33	0	60	91	151	△151	—
計	19,000	17,156	11,616	47,773	2,377	50,151	△151	49,999
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	4,083	2,279	1,836	8,199	△36	8,162	△3,523	4,639

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△3,523百万円は全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
一時点で移転される 財又はサービス	6,711	837	7,413	14,963	724	15,687	—	15,687
一定の期間にわたり 移転される 財又はサービス	9,174	13,415	4,096	26,686	1,544	28,230	—	28,230
顧客との契約から生じ る収益	15,886	14,253	11,509	41,649	2,269	43,918	—	43,918
外部顧客への売上高	15,886	14,253	11,509	41,649	2,269	43,918	—	43,918
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28	24	0	52	93	146	△146	—
計	15,914	14,277	11,510	41,702	2,362	44,064	△146	43,918
セグメント利益	1,130	1,365	1,635	4,131	105	4,236	△3,746	490

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,746万円は全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。